2025 年度

SGT　活動レポート

陶芸講座
第 4 回

9 月 10 日（水）、中高選択者による陶芸講座の第 4 回が 4 階技術家庭科室を会場で行われました。

今回は、本校の窯で焼き上げた花瓶の観賞会です。生徒たちはまず本校の窯場に行き、林檎先生から一つずつ丁寧に作品を渡してもらいました。細かな装飾部分が剥離していないか気になるところでしたが今年度はどの作品も剥離することはありませんでした。作品を受け取ったら技術家庭科室に戻り、花瓶の底面をやすりで削って滑らかにします。次に背景となる布を貼ります。林檎先生が作品が映えるようにと濃紺の布をご用意してくれました。この布を壁に貼るため、まず家庭科の教材が入った段ボールを全員で移動し布を貼りました。そして一人ずつ間隔を空けて花瓶を並べていきます。この時、作品が一番映える正面の位置を確認しながら作品を置きます。最近の陶芸作品の展覧会は、まず写真で評価されるそうです。今回の生徒の作品は、展覧会に出品しませんが、出品者する陶芸作家のような気持ちで各自写真を撮影してもらいます。角度を変えて撮影したり、小物飾りを置いて撮影しました。

さて、4 回にわたった陶芸講座ですが、今年度は、中学生 4 名、高校生 6 名の女生徒が参加しました。陶芸に興味がある生徒たちが集まっただけあり、装飾や彩色にこだわった個性豊かな生徒たちの作品が並び、若い感性がよく表現されています。

今回をもって今年度の中・高選択者の陶芸講座は修了です。次年度は、さらに新しい感性を持った生徒たちが挑戦してくれることを楽しみにしています。

窯出しです。細かなパーツが剥離していないかドキドキします。

作品を確認しながら一人一人に丁寧に手渡していきます。

底面を紙やすりで削り滑らかに整えます。

この段ボールの壁をまずは全員で移動します。

作品が映えるように紺色の布をバックにしました。

作品の向きを整え、「映える」位置を確認します。

正面の位置を確認したらまずは自分の作品を撮影します。

最も「映える」位置を撮影しながら確認していきます。

先生のアドバイスを聞きながら撮影します。

小物飾りを一緒に並べて撮影してみました。

快心の一枚は撮れたでしょうか。

どの作品もひとつひとつ個性があり、素晴らしい仕上がりとなりました。